

観光問題

問 中国都市と姉妹提携の考えは

答 門戸を広くした誘客を推進



田中 榮一 議員

【誘客対策について】

**問** 福島第一原発事故を機に外国人観光客の宿泊キャンセルが相次ぎ、この冬も外国人観光客の大幅減が予想され誘客対策は急務である。インバウンド関連では、巨大市場である中国が鍵を握っていると想うが、中国国内都市との姉妹又は友好提携を含めた対策は。

**村長**

11月長野県主催のスノーリゾート信州冬季観光プロモーションに、副村長が中国へ村内観光業者と共に出席し、北京市関係者、現地旅行会社やスキー場等への

セーリングを行ってきました。また、観光局は、JNTO(日本

政府観光局)の会員となり、JNTOからの情報提供を活用



住民の協働による伝統行事(飯田)

し、県とも協働して、中国からの誘客に努めてまいりたいと考えています。姉妹都市・友好提携という手法も一つではありますが、現段階では門戸を広くした誘客を推進していきたいと考えています。

**問** 「日本で最も美しい村連合」に登録する考えは。

**村長** 村の観光推進については、観光局を中心に、観光協会、商工会、索道事業者を始めとする観光事業者と連携し推進しており、景観と環境については、村環境基本条例、景観形成重点地域指導基準、色彩計画などの規程による指導、保全を図っており、加盟する考えはありません。

【区加入条例 制定について】

**問** 村として長年の懸案事項である、行政区未加入問題はコミュニティや住民自治を揺るがすものであり、村民参加の協働の村づくりを進める上で重要な課題であると思う。加入を義務付ける条例の制定を検討すべきと思う

が。

**村長**

条例制定を想定した場合、未加入者に対する罰則規定の有無や、法律上の整合性などを含めた議論をしていかないと、条例自体が形骸化する恐れもあり、先進事例を参考にしながら研究していく必要があると考えます。

【放射性物質 検査について】

**問**

村内小中学校が給食で使う食材について、放射性物質検査を実施しようとしている市町村が増えてきているが、村教育委員会としての考えは

**教育 長**

長野県教育委員会では、教育委員会と連携して検査を実施し、安全の再確認及び検査結果を公表して、学校給食への理解や安心を図ることとしており、村教育委員会も検査依頼を希望しています。これに加え、保護者の皆さんに、主な食材の産地を、月初めに公表して参りたいと考えています。